



50 412

尚 4 x 1/2

麤畫便覽下卷目錄

正甫

うづら

直菴

たろ

宗達

菊 あざみ

友禪

赤い野
白みり
そり

光琳

さき、梅
あし、く
乃、子

鳥羽繪

狂人形

立甫

大黒
二上人

以上

名 得 無 世

石 田 日

家



雁馬

雁馬し云くわりの性氏と云くは
 昔我の直菴と云くは 蛇足 族を
 ありとも云くは年と云くは
 う流おとす 又く物と云くは
 天性者と云くは 病を
 かうま下乃毛と云くは
 けりあつと云くは



草花

宗匠の筆に倣ふは、京の花と
山梨の萩に倣ふは、京の花と
是に倣ぐは、余は、是に倣ぐは、秋の萩
美の秋とくには、今、秋とくには、

一花を

世に

五





夜狼の松

友誼の松は夜狼の松
 乃松は夜狼の松
 いはゆる松は夜狼の松
 と松は夜狼の松

夜狼の松

松の夜狼

松の夜狼

卷下



卷下





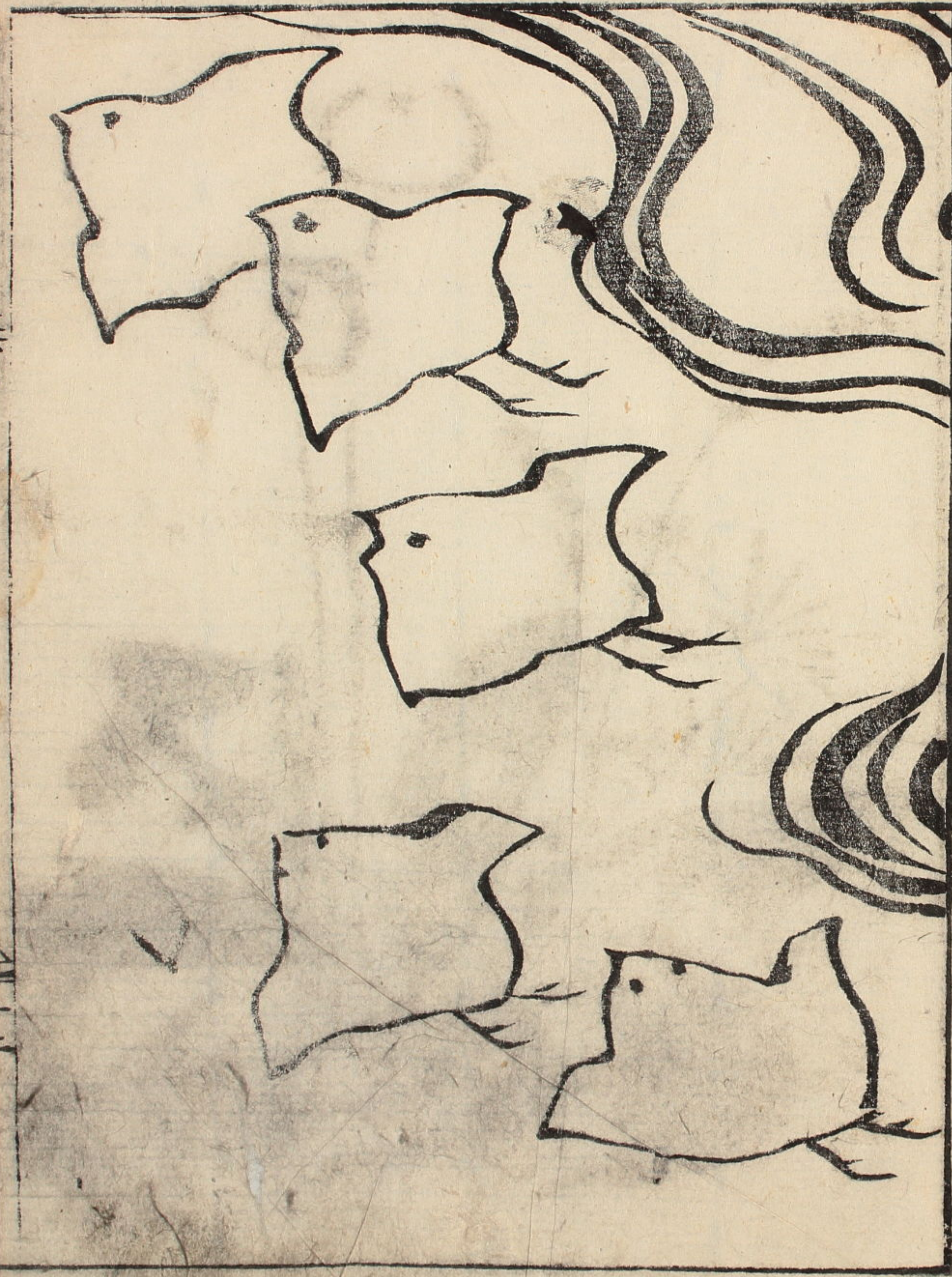


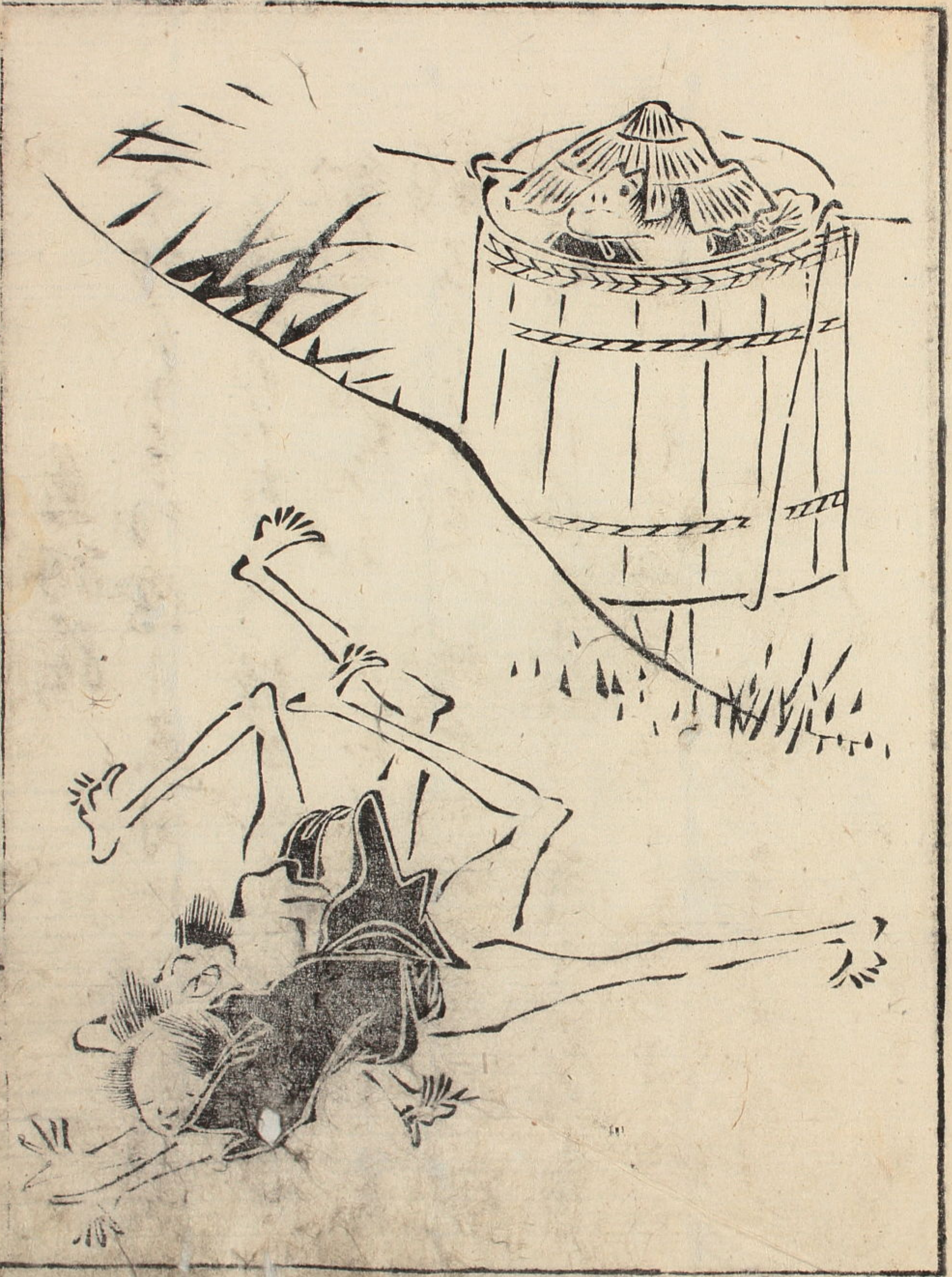
孝学

遠く舟中孝学
 治政 軽筆
 尚代にわたり孝学
 孝学と益く不とあるふまはしとの即極
 とをくえんて家司と孝に極色らふて
 りんがー 孝学 孝学
 海の家をいふ



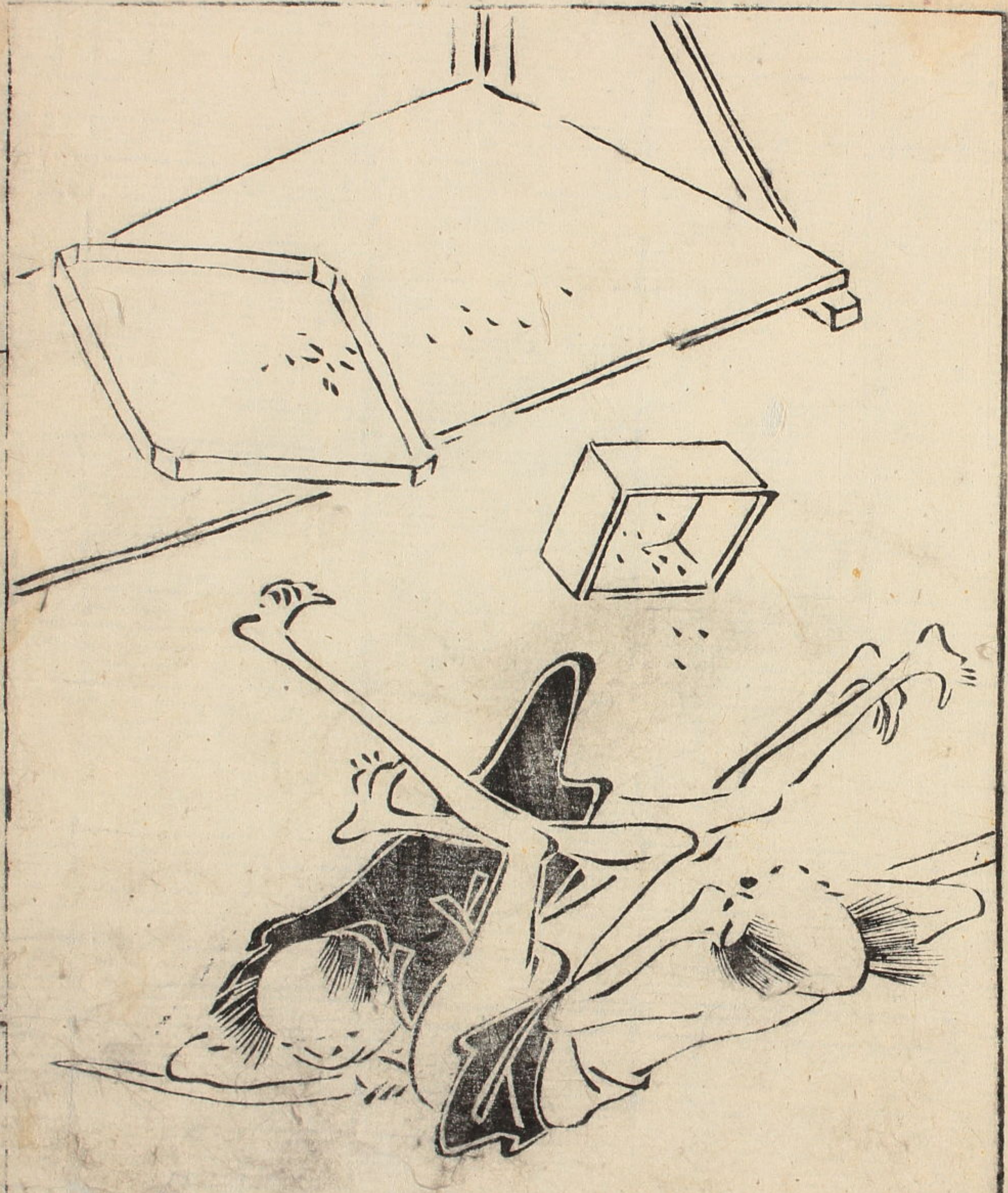






鳥羽松

を此らうも^この^に松^のと名^を分^けけ^て松^を蓋^とす^る
 おらぬわらおへ^の傍^によ^りその^の言^を然^らず
 禽^の鳥^の風^を流^しあ^らせ^し物^のま^はり
 形^のあ^らじ^のま^はり^の松^を少^なぬ^はに^らず^の松^の
 とのま^はり^の松^をと^おし^てに^おく^はり^のま^はり^の
 ほと^く松^の松^のま^はり^のま^はり^のま^はり^の
 是^をあ^らじ^のま^はり^のま^はり^のま^はり^の





みねの巻

まふせりしきまの通書に書こぬるに
かゝりて後任ありて書こぬるに
とくし初めのよふに件書とありし
事しじむるなり維が筆跡に暮
ともみ息縁ごと

浪問しきふりし

号紙ふの家

節ら乃ちあも

おもの小鏡



立陣書

いかに此書のゆゑに
 えいといふまじき
 内とあるふ
 及ゆゑに
 此書に
 ぬきと
 おのゝ

かといふ
 とし
 ろう
 高舟



高舟

高舟



そは
 高舟

孔子曰知之者不如好之者好之者不如樂之者於伎藝上
之者不如樂之者於伎藝上
兩矣粵高平曹卜子自擊亂
耽畫術入狩楚氏之門屢趨
于庭審問篤信輒不倦也
其為人也宏才敏捷而拔群
出黨也研精探微頗雖得其

畫工

法眼春卜纂



惠有鹿

1761 寶曆十一辛巳孟冬再校

江府日本橋南壹町目

須原 茂兵衛

浪華心齋橋安堂寺町

大野木市兵衛

書林

